

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2791500198		
法人名	株式会社ケア21		
事業所名	たのしい家新深江 全ユニット共通		
所在地	大阪市東成区深江南1-9-25		
自己評価作成日	令和5年3月23日	評価結果市町村受理日	令和5年6月4日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/28/">http://www.kaigokensaku.jp/28/</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 H.R.コーポレーション		
所在地	兵庫県西宮市甲陽園本庄町6-25-224		
訪問調査日	令和5年3月28日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

コロナ禍の状況で家族様との面会や外出等が制限され、ご入居者様にとっては季節感を感じたり、地域の方との交流などが難しい環境かと思えます。その中でも、少しでも自身を必要とされている・ここにいていいんだと思えるよう、食事の片付け・花壇の水やり等、役割分担をしながら、生きがい・楽しさに結びついたらと思って支援しています。

【第三者評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

共用空間は大きな掃き出し窓からの採光で明るく、白い壁・木調の扉や家具で明るく落ち着いた環境である。広い空間にテーブル席・ソファスペースを設け、利用者と一緒に制作した季節の飾り付けを行い季節感を取り入れている。1日3回の体操を日課とし、家庭的な居心地の良い雰囲気の中で、一人ひとりのペースでゆったり過ごせるよう取り組んでいる。コロナ禍終息後は、花壇での菜園活動・地域交流・家族との交流や外出等に取り組む予定である。全国展開する法人が運営する事業所であり、研修・会議・委員会・訓練・ケアマネジメント等の体制・書式が整備されている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

## 自己評価および外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	それぞれに役割をもって頂き、役割を果たしている充実感を感じて頂く事を生活の中に取り入れ実践に繋げています。施設理念を掲げ、職員と一緒に柔軟な対応を心がけている。	会社の運営理念、事業所の理念・基本方針、期ごとの事業所ビジョンを明文化し、玄関ホールとエレベーター内に掲示し周知を図っている。事業所のビジョンに地域密着型サービスの内容を取り入れている。利用者支援について検討する際は、理念に立ち戻って検討するよう管理者が意識づけを行い、理念の実践に向けて取り組んでいる。期末には、各フロア会議でビジョンの実践状況について振り返りを行い、次期のビジョンの実践につなげる予定である。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ流行中の為外には出にくい中ですが、通院での交流や玄関先での交流は行っています。	コロナ禍のため、地域交流が困難な状況である。民生委員・地域包括支援センターとのつながり、玄関前等での近隣住民や保育園児との挨拶や会話等、可能な範囲で地域とのつながりを継続できるよう努めている。コロナ禍終息後は、地域交流を再開する予定である。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を書面にて行い、少しでも情報の共有を図っています。		

たのしい家新深江

評自 価己	評外 価部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	開催ごとに議題を設け、サービスの向上に努めています。	家族・地域代表(民生委員)・地域包括支援センター職員・事業所管理者を構成委員とし、2ヶ月に1回書面開催している。全家族を含め構成委員に、入居者状況・研修・事故ヒヤリハット事例・感染症・行事・その他事項等を記載した報告書に、「ご意見・ご感想シート」を同封して郵送している。「ご意見・ご感想シート」で返信された内容も記載して議事録を作成し、構成委員に再度郵送し、書面開催でも意見・情報交換できるよう取り組んでいる。ファイルを玄関に設置し、議事録を公開している。	運営推進会議再開後は、利用者・知見者の参加が得られる取り組みが望まれます。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	地域連絡会にはリモートにて積極的に参加し、協力関係を築くために必要に応じて対応しています。	運営推進会議を通して、地域包括支援センターとの連携がある。地域包括支援センターとグループホームの地域連絡会にリモートで参加し連携を図っている。地域の高齢者支援について、地域包括支援センターと協力関係の構築に努めている。報告事例があれば、区役所の担当課に適宜報告している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修、カンファレンスにて身体拘束についての理解を深めています。	「身体拘束等の適正化のための指針」を整備し、身体拘束を行わないケアを実践している。身体拘束適正化委員会を、2ヶ月に1回、管理者と当日出勤の職員が参加して実施している。身体拘束の事例なしの確認と、適正化に向けた取り組みを検討し議事録を作成している。議事録は、全職員がパソコン内で閲覧し、閲覧状況を確認できる仕組みがある。オンライン研修の年間研修計画に沿って、年に2回「身体拘束適正化」の研修を実施している。全職員が視聴し、報告書等の入力により受講を確認できる仕組みがある。研修内で「自己点検シート」による自己評価を行い、結果に応じて個別面談を行う等、不適切ケアの未然防止に取り組んでいる。各フロアの入り口は施錠されているが、外出の希望があれば玄関前やベランダで気分転換を行うようにしている。	

たのしい家新深江

評価部	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	社内外の研修、カンファレンスにて虐待についての理解を深め、防止に努めています。		
8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社内研修にて理解を深め、必要に応じて支援しています。		
9	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約、解約においては説明に十分な時間を設け、納得して頂けるよう努めています。		
10	(6) ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議、アンケート等にて意見要望を把握し運営に反映しています。	家族の来訪時、面会時(時期に応じて、ガラス越し面会・玄関ホールでの面会)、電話連絡時等に近況を報告し、意見・要望の把握に努めている。毎月フロア毎の「たのしい家通信」を、2ヶ月に1回運営推進会議の議事録を郵送し、利用者の様子や事業所の取り組み等を伝えている。運営推進会議の議事録には「ご意見・ご要望シート」を同封している。法人が年に1回行う家族アンケートの結果も、サービスや運営に反映している。	
11	(7) ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	フロア会議にて意見や提案を聞き運営に反映しています。	月に1回フロア会議を実施し、全フロアのフロア会議に管理者が出席し、職員の意見・提案の把握に努めている。フロア会議では、管理者から全体事項の報告があり、利用者個々の情報共有や検討を行っている。日々の検討事項については、各フロアの職員の意見を管理者が集約し、申し送りノートで共有しながら実施につなげている。定期的には年1回、随時にも管理者が個人面談を行い、職員の意見を個別に聴く機会を設けている。職員の意見・提案は、内容に応じて管理者がエリアマネージャーに伝えている。また、法人が年1回職員アンケートを実施している。	

たのしい家新深江

評自 価己	評外 価部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	誰伸び制度という人事考課制度にて職員の実績を把握し給与に反映しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	入職者はコロナの影響により3日間の施設リモートでの研修を受講し業務に従事しています。3カ月6カ月1年経過後に再度本社もしくはリモート研修を受講しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の施設連絡会を通し同業者と交流を持つ機会を図っています。		
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前のアセスメントをスタッフ間で共有し、安心して頂けるようなコミュニケーションを図っています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	アセスメント時に現在の状況、不安な事を確認し関係作りに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	今の現状に対しどのようなサービスが適切か、本人、家族様と話し合い、妥当なサービスを受ける事ができるよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	レクリエーションやその他の作業等を通し、馴染みの関係が築けるよう努めています。		

たのしい家新深江

評自 価己	評外 価部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日常生活を通じて本人の希望を把握し、家族様の意見も取り入れ介護計画を作成しています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出や面会が制限されている為、電話でのみ対応しています。	馴染みの人や場所についての情報があれば、「フェイスシート」の「生活歴」欄等に記録している。コロナ禍のため、通常の面会・交流・外出は休止している。時期や状況を勘案しながら、ガラス越しの面会・玄関ホールでの面会・電話・手紙・家族との外出等、可能な方法で馴染みの関係が継続できるよう取り組んでいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとりにあった生活を過ごしてもらっており、入居者様に合わせて柔軟に対応しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	終了後も継続的な関わりが必要な場合は、相談や支援を行っています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	意思疎通が困難な場合でも、表情や仕草を観察し、できるだけ本人本位になるようにしています。	契約時に利用者・家族から聞き取った思いや暮らし方の希望・意向は、「フェイスシート」の趣味嗜好・生活歴・本人及び家族の主訴や要望欄等に記録し把握している。日々の会話から「食べたい」「したい」等の思いや意向を把握し、日常生活に取り入れたり、サービス計画に反映し実践できるよう取り組んでいる。意思の疎通が困難な場合は、表情やしぐさ等から汲み取り、思いや意向に添った支援ができるよう努めている。	

たのしい家新深江

評自 価己	評外 価部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメント時に生活歴やサービスの利用状況等、不安な事を確認し関係作りにも努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	往診、訪問看護、介護記録を通じて心身の状態の把握に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者様、家族様の意向を把握し介護計画に反映しています。	「フェイスシート」「アセスメント」をもとに初回の「施設サービス計画書」「日課計画表」を作成している。実施状況はタブレット内の「介護記録」に記録している。毎月のフロア会議で利用者個々の情報共有や検討を行い、定期的には6ヶ月毎に計画の見直しを行っている。見直しの際は、「評価表」でモニタリング・評価を、「ケアチェック表」で再アセスメントを行い、サービス担当者会議を開催している。家族の意向や主治医等関係者の意見は事前に聴き取り、可能な限り会議で利用者の意向も聴き、施設サービス計画に反映している。	施設サービス計画に基づいた実施が明確になる介護記録についての共通認識や記録の工夫が望まれます。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録、アセスメントシートを利用して介護記録の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者様や家族様の状況に応じ、柔軟に対応できるよう努めています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源の把握に努め、多くの選択肢を入居者様に提供できるよう努めています。		

評自 価己	評外 価部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に施設の協力医療機関の説明を行っているが、昔からの馴染みの病院がある際は、家族様に選択して頂いています。	契約時に、協力医療機関の説明を行い、利用者・家族の希望するかかりつけ医を確認し、意向に沿った受診を支援している。協力医療機関から定期的な内科往診(月2回)・歯科往診(希望時)と訪問看護(週1回)が受けられる体制がある。他科については、家族の同行による通院受診を基本としている。往診結果はタブレットの「介護記録」のフォーカス「往診」に、訪問看護の健康観察の結果は「バイタルチェック表」の「アセスメント・指示事項欄」に記録している。通院受診については、家族から報告があれば「介護記録」に記録している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	状態に変化があった場合は看護師に連絡を取れる体制にあり、必要に応じて適切な医療機関への連携、事業所内での対応のアドバイスをして頂いています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	家族様、病院との連携を密にし、現状の把握、情報交換に努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に重度化した場合における対応に係る指針について説明し同意をえています。重度化した場合には医師と家族様と事業所で話し合い方針を共有しています。	契約時に、重要事項説明書の「重度化対応・終末期ケア対応に係る指針」で事業所の方針を説明し同意を得ている。緊急時対応の意向については、「意向確認書」で確認している。重度化を迎えた段階で、主治医・家族・事業所で面談を行い、サービス担当者会議の議事録に記録している。家族に看取り介護の希望があれば、看取りに向けた「施設サービス計画書」を作成し、主治医・訪問看護・薬局などチームで支援に取り組んでいる。オンライン研修で「看取り介護」研修を実施している。	

評自 価己	評外 価部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	入職時の本社研修で応急対応や初期対応について指導しています。又、カンファレンスなどで定期的に全職員に説明し実践できるようにしています。	/	
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の消防訓練の義務がありますが、コロナの影響により内々での訓練は行っています。コロナが明ければ近隣の方や消防職員の方々に立ち会って頂いています。	年2回火災対応の総合訓練を実施している。令和4年度は、4月に日中想定のみならず、夜間想定も実施している。12月には夜間想定のみならず、模擬通報訓練を実施している。実施後に「消防訓練通報書・報告書」を作成して各フロアに配布し、報告書の回覧とパソコン内での閲覧により周知を図っている。オンライン研修で「災害時対応」研修を実施している。食料・水の備蓄は法人が支給・管理し、排泄用品・懐中電灯等の備品は事業所で用意して管理者が管理し、すべて3階倉庫に保管している。コロナ禍終息後に、災害時に備えた地域との協力体制の構築に取り組む予定である。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様の今までの生活状況を把握し、人格を尊重しながら声掛けをしています。	オンライン研修で「接遇マナー」「認知症ケア」「人権」研修等を実施し、尊厳やプライバシーを損ねない言葉かけや対応を学ぶ機会を設けている。研修内で「自己点検シート」による自己評価を行い、言葉や対応について振り返りを行っている。気になる言葉かけや対応があれば、管理者が個別に注意喚起や助言を行い、また、フロア会議で全体に向けても注意喚起している。利用者の写真や映像の使用については、契約時に文書で意向確認を行っている。	

たのしい家新深江

評自 価己	評外 価部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の希望は出来るだけ取り入れ、自己決定の難しい方は日常生活の中で思いを汲み取るようにしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様とのコミュニケーションを通じ、できる限り要望に応えることができるよう努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理美容の協力を得ながら、その人らしいオシャレができるよう努めています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様の能力に応じて食事準備、後片付けをスタッフと共に行っています。	各フロアで炊飯・汁物調理を行い、委託業者から届けられた食事を湯煎して提供している。利用者個々の状況に応じた食事形態にも対応している。行事食は選んで発注することができ、イベント食(寿司・松花堂弁当等)を事業所内で企画したり、おやつ(紅白饅頭・ケーキ等)も工夫する等、食事が楽しめる機会作りに努めている。利用者の力量や好みに応じて、お盆拭きやおしぼりたたみ等に参加できるよう支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分摂取量は記録に残し、好みの飲物、食事等を把握し提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後に口腔ケアを行い、必要に応じて訪問歯科の協力を得ています。		

たのしい家新深江

評自 価己	評外 価部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄パターンを把握し、個々の状況に合わせた時間で声掛けや誘導を行っています。	タブレット内の「排泄表」をもとに排泄状況や排泄パターンを把握し、日中は可能な限りトイレでの排泄が継続できるよう支援している。夜間は安眠にも配慮し、トイレ誘導やおむつ交換等、個々に応じた支援を行っている。排泄用品や介助方法についての検討事例があれば、職員の意見を管理者が集約し、「申し送りノート」で共有し現状に即した支援につなげている。排泄用品については、事業所の備品で試し、家族に相談の上で変更している。ドアの開閉、周囲に配慮した声かけや報告等、利用者のプライバシーに配慮するよう周知を図っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄表にて個々の排便状況を把握し、内服薬に頼らない排便コントロールを心がけています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	職員が二人以上いる時間帯で希望に合わせて入浴できるように支援しています。	週2回午前入浴を基本とし、タブレット内の「入浴表」で入浴状況を把握している。利用者の体調や気分に合わせて、日や時間の変更にも柔軟に対応している。一般浴槽での個浴で、一人ずつ湯を入れ替え、自分のペースで入浴ができるよう支援している。身体状況に応じて、シャワー浴・足浴・2人介助等にも対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	認知症に配慮して入眠を促す時もあるが、個々の生活習慣に合わせています。		

たのしい家新深江

評自 価己	評外 価部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情をファイル管理しており、副作用に注意しなければならない内服薬に関しては連絡ノートを使用し注意を促しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	歌を歌う、トランプ等の施設内でのレクリエーション、家事等それぞれの状況に応じた支援を行っています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナの為玄関先までしか出ることが出来ず、コロナが明ければ散歩等行っていきたいと思います。	コロナ禍のため、戸外に出ず、館内で過ごす時期が続いている。コロナ禍終息後は、状況を見ながら外出支援を再開する予定である。	場所や時間帯を考慮しながら、玄関前スペースやベランダでの外気浴や花の水やり、近隣の散歩など、利用者が戸外で過ごす時間を持てるよう工夫することが望まれます。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個々の能力や希望に応じ、お小遣いを管理し外出時に使う機会を持てるように支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望に応じ電話の手助けや手紙の記載をしています。LINEでのテレビ電話にてオンライン面会を開催しています。		

たのしい家新深江

評自 価己	評外 価部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	なるべく落ち着いた環境で過ごして頂けるよう配色や飾り付けを工夫しています。	各フロアの共用空間は広く、大きな掃き出し窓からの採光で明るく、清潔感がある。空気清浄機・加湿器を設置し、定期的に消毒や換気を行い、快適で衛生的な環境づくりを行っている。動線に配慮してテーブル席・ソファ席を配置し、利用者がそれぞれゆったり落ち着いて過ごせるよう配席にも配慮している。洗濯たたみ・お盆拭き・おしぼりたたみ等に参加ができるよう支援し、生活感を取り入れている。利用者と一緒に制作した作品を壁に飾り、季節感が感じられる。朝食・昼食・夕食前に体操や口腔体操を行い、一緒に体を動かす機会を設けている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テレビ前にソファを設置し、個別のスペースを持てるよう配慮しています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に家族様と相談し、使い慣れた家具を持ってきて頂き落ち着いて暮らせる居室作りをしています。	各居室も窓からの採光で明るく、ベッド・クローゼット・コールボタン等が設置されている。テレビ・筆筒・寝具等使い慣れたものが持ち込まれ、家族の写真・利用者の作品・職員からのお祝いの色紙等が飾られている。居室担当職員を設置し、家族と連携しながら、衣替えや環境整備を支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	分かりやすく簡単に様々なものを使用する事が出来るよう配慮しています。		